

J Aあきた白神自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに

J Aあきた白神は総合事業を展開します

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組みます。このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんと話し合いを深めます。そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

- ☞ J Aは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- ☞ 農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。
- ☞ 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。
- ☞ いわば、農業者と地域農業の応援団で、J Aの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

ここでは、総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた、JAの主な取り組みを次の3点により紹介します。

1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大の伸長

【 農畜産物取扱高 61億1,253万円 】

米については、「需要に応じた生産」に努め、実需者とのマッチングを行います。「全農委託販売」では、販売先が明確である3者契約による事前契約を進め、JA独自の「直接販売」、「買取米」は、安定的な価格と数量の確保に努め、生産者手取りの最大化を目指してまいります。

また、青果物では、白神青果物産地拡大対策補助金（増反面積2万円/10a、りんどう4万円/10a）の独自加算金を継続し、新たに新規作付助成金（新規面積3万円/10a）を設け、農業生産の拡大に努めます。

2. 担い手等農業者への支援に向けた取り組み

【 農業資金残高 9億5千万円 】

農業メインバンクとして、農業法人を含めた担い手農業者等に対してニーズ等を踏まえた農業融資を行います。また、保証料ゼロ化の継続とJAバンク利子補給制度を活用し、農業者支援へ積極的に取り組んでまいります。

3. 生産コスト低減に向けた取り組み

【 肥料・農薬・生産資材供給高 12億7,480万円 】

安価な肥料の提案や資材価格低減策【水稲用肥料を主体とした銘柄集約、B B肥料の取扱い拡大、肥料・農薬の直送配送、省力軽量一発型肥料の普及拡大】を積極的に活用し、生産コストを低減します。